一般社団法人ワールドスケートジャパン審判員規程

(目的)

第1条

この規程は、一般社団法人ワールドスケートジャパン (WSJ) の定款第62条に基づき、審判員の規程を定める。

(認定)

第2条

- 1 各競技員会策定の審判講習会及び審判員試験合格者を審判員として認める。
 - (2) 審判員は国際審判及び国内審判 A・B・C の審判がある。
 - (3) 審判員試験は満20歳以上の者にその受験資格がある。
- 2 国内 C 級審判は C 級審判講習会を受講し C 級審判試験に合格した者に与える。(都道府県の地方大会の審判資格を有する。)
- 3 国内 B 級審判は C 級審判資格取得者で取得後2年以上の審判経験がある者、及び全国大会(ジュニア以上の大会)に3年以上その競技者として経験が有る者がその受験資格を有する。
 - (2) 国内 B 級審判講習会を受講し、B 級審判試験に合格した者にその資格を与える。(全国大会及び東西日本選手権の審判資格を有する。)
- 4 国内 A 級審判員は、B 級審判経験2年以上経験し、A 級審判講習会を受講し、A 級審判員試験に合格した者にその資格を与える。
- 5 国際審判員は国際連盟 World Skate (WS) 主催の各競技審判試験に合格した者。(国内 A 級審判員及び世界選手権大会5回以上参加した者にその受験資格を与える。(25歳以上)
 - (2) 国際大会の審判資格を有する。(アジア選手権、アジアゲームス、世界選手権、他国際大会)
- 6 各競技委員会は審判員の技能が低下したと認められる場合、各競技委員会においてその審判員資格を取消・変更することが出来る。
- 7 審判員資格の認定・変更及び取り消しは当該審判員の所属都道府県連盟及び各競技委員会を通じ書面にて通知をする。
- 8 2年以上競技審判を行わなかった場合は委員会に諮りその資格の失効及び異動する場合がある。

(定年)

第3条

審判員の定年は満70歳とする。(審判員としての技能が落ちていないと認められた場合各委員会は特例として定年の延長を承認できる。)

(登録・有効期限)

第4条

(1) 審判員は毎年度（4月1日～3月31日を1年とし）審判員登録と所定の登録料を World Skate Japan 事務局へ納入する事。

(2) 国際審判は毎年度（1月1日～12月31日を1年として）1月15日までに World Skate Japan 事務局に納め WSJ 事務局が一括して WS へ1月末までに振り込む事。

（登録料）

第5条

審判員登録料は年2000円とする。

（届け出・義務）

第6条

審判員は資格認定に変更・異動があった場合速やかに WSJ 事務局に届け出る事とする。

審判長は大会競技の翌日までに審判報告書を WSJ 事務局に提出する事とする。

（服装）

第7条

各競技の特性に合わせ各競技ルールに従う。

（その他）

第8条

審判員は出場する選手と特別な関係にある人はその任務に就く事は許されない。（コーチ・親しい友人・選手本人の親・親戚である人物）。

第9条

各競技委員会は競技の独自性に依じた審判規定を定めることができる。

（改訂）

第10条

本規定の改廃は理事会の決議により行う。

附則（令和 5年10月〇〇日制定）

令和5年10月〇〇日より施行する。